



地域と医療のコラボレーション

# ハーモニー

Harmony ♪

## 第24号



2012 / September

発行 / 医療法人社団協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

### 特集

## 北さいたま消化器疾患懇話会

東大宮総合病院 副院長・外科部長 梅本 淳

北さいたま消化器疾患懇話会は、さいたま市のJ R 大宮駅より北の方を中心に活躍されている開業医の先生方や病院勤務医を対象にしたという意味で命名された消化器疾患に関する研究会です。私がこのさいたまの地に来て2年目の時に、田畑育男先生のご提案により平成二十一年十月二十一日、第1回会合を開かせていただいた以来、年2回のペースで既に6回開催されてきました。この研究会では日頃の診療で出会った珍しい症例、参考になる症例を持ち寄り診断や治療法を参加者全員で検討したり、ある疾患についてミニ講演をしたりします。この研究会は、通常ある講演会形式や学会形式のように型にはまった一方通行のものではなく、自由闊達、談論風発的に出席者が意見を出し合うという会風が特色があります。ベテランの先生方やよく勉強し知識豊富な先生方も多いのですが、もともと誰でも気軽に質問したり発言できることを目指していますので、その時のテーマにあまり知識がない方も臆することなく質問ができます。この会を通じて地域の消化器病に関心をお持ちの先生方が共に知識を深めあうとともに、お互いの親睦も深めることができれば幸いです。

最近では、平成二十四年五月九日(水)に第6回の懇話会(当番世話人・松本 岳先生、吉田森一先生)が開催されました。当日は二〇名余りの医師の他、看護師、放射線技師なども含め、計約三〇名が集まり会場がほぼ満席となりました。いろいろな方が積極的に発言され、また、内容的にも回を重ねることにより深く考え

る会となってきたと感じられました。症例提示にしても、特段難しいとか珍しい症例である必要は必ずしもなく、ちよつと他の先生方の意見も聞いてみたいとか、異なる科の先生に相談してみたいとか、経過が面白いので他の先生にも披露したいといったものでよく、とにかく気軽に何でも相談できる雰囲気にしたという原点は今後も維持していきたいと思っています。病理に関しても詳しい先生方が複数いらっしゃると、東大宮総合病院病理診断科の小川医師もできる限り参加しています。なお、この懇話会では田畑先生のご指導により第1回会合から毎回、発表内容の記録集を作成・保存してまいりました。今から見直してみると、記録をしっかりと残していくことの重要性が認識されます。これからは、会合をやりつばなしにせず記録資料をしっかりと蓄積していきたいと考えています。



これまでの記録集

診療科だより

# ヘルニア外来



こじま しげひろ  
外科 小島成浩

## 鼠径ヘルニアの症状

立った時やお腹に力を入れた時に鼠径部の皮膚の下に柔らかい腫れができます。普通は指で押さえると引っ込みます。大きさはウズラの卵くらいの小さなものから子供の頭くらいの巨大なものまで様々です。膨れた部分が押さえても引っ込まなくなることがあり、お腹が痛くなったり吐いたりします。これをヘルニアの嵌頓（かんとん）といい、状況により緊急手術が必要となります。



嵌頓になったヘルニア

れることなどがありますが、全身麻酔が困難な患者さんや下腹部手術の既往のある患者さんなどでは従来法で行う場合もありますので、医師と相談のうえ手術法を決定します。基本的には手術前日に入院し手術翌日に退院となりますが、場合により手術当日の入院も可能ですのでご相談ください。



## 合併症について

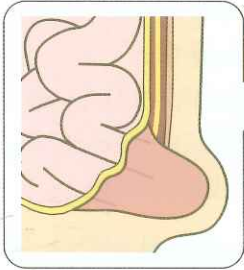
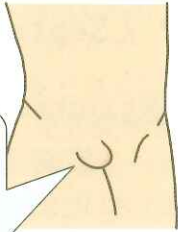
どんな手術法でも再発はゼロではなく、腹腔鏡下ヘルニア修復術でも0.5〜1%に再発があります。また術後に鼠径部に一時的に組織液や血液がたまる場合があります。

## 手術後の生活

退院後の日常生活に特に制限はありません。入浴は手術翌日から可能です。仕事も制限はありませんが、特に重いものを持ち上げるような仕事の方は相談してください。ゴルフやジョギングなどの運動は、術後3週間後くらいから始めることが可能です。

## 鼠径ヘルニアとは

「鼠径ヘルニア」とは、本来ならお腹の中にあるはずの腹膜や腸の一部が、鼠径部（太ももの付け根の部分）の筋膜の間から皮膚の下に出てくる病気です。一般の方には「脱腸」と呼ばれたりします。決して稀な疾患ではなく日常生活で最もよく見る病気の一つです。



## 鼠径ヘルニアの治療

鼠径ヘルニアは自然に治ることはありません。また、有効なお薬や運動療法もなく、手術のみが「治せる」治療です。当院では腹腔鏡（細い管の先端にカメラが付いた手術器具）を使用して手術を行う腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復法を基本としています。手術は全身麻酔で行います。お腹を切開する手術（従来法）と異なり、まずお腹に2〜3ミリ〜1センチの小さな穴を2〜3カ所あけます。そのうちの1つの穴から腹腔鏡を入れ、テレビモニターで観察してヘルニアの場所を見つけ、人工補強材のメッシュを使用し修復を行います。腹腔鏡手術の利点は傷あとが小さく（従来法では5センチ程度）痛みが少ない、日常生活に早く戻



10cm

## ヘルニアかな？と思ったら

当院では豊富な手術数のもと、自信を持って診療にあたっておりますので、疑わしい症状のある場合にはどうぞお気軽にご相談ください。

### ヘルニア外来担当医

◎坂本院長  
火曜日（午後）  
水曜日（午前）

◎小島医師  
水曜日（夕方）

# より良い病院を目指して

## ■□■ 医療チームの取り組み ■□■

多種多様な医療スタッフがそれぞれの高い専門性を活かし、目的と情報を共有し、患者様の状況に的確に対応した医療を提供する「医療チーム」をご紹介します。

### ● 口腔ケアチーム

口腔ケアチームでは、口腔環境の快適性の確保ならびに、咬む、飲み込むといった口腔機能の維持、回復、QOLの向上に取り組んでいます。また、人工呼吸器関連肺炎やがん患者様の口腔粘膜炎や術後感染などの合併症、高齢者の誤嚥性肺炎の予防を目的としています。

このチームは歯科医師、医師、看護師、歯科衛生士、言語聴覚士、薬剤師で編成しており、各病棟看護師への口腔ケアの指導、周術期患者様への口腔ケア指導、指導前後の評価、全職員を対象とした口腔ケアの勉強会を行なっています。

今後も口腔ケアの重要性を周知させ、安全管理の向上や医療費軽減に役立つ活動をしていきたいと思っております。

歯科口腔外科 医長 鈴木雅之



### ● ICT(感染対策チーム)



ICTとはInfection Control Teamの略で、院内外の「感染」に関してコントロールするチームです。「感染」と一言に言っても活動範囲はとても広く、感染症を広めないために、院内スタッフの教育や環境の整備を行います。また感染症の患者様の状態などを把握し、少しでも早く感染症の治療が終了するよう、支援させて頂いております。そのほかにもインフルエンザ対策や、ノロウイルス対策など「感染が起らない様に」、日々活動しています。

ICTは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師でチーム編成してしています。病棟や外来スタッフの協力も欠かすことはできません。チームミーティングは週に1度定期的に行っておりますが、有事の際は自慢のチームワークで即座に集結し、対策を打ち出し、対応します。「感染に関する駆け込み寺でありたい」と考え、いつでも笑顔で活動を行い、院内の感染のコントロールを行っております。

感染制御認定薬剤師 矢吹直寛

## 10月は乳がん月間です

J.M.S という言葉をご存知でしょうか？

JMSとは、「ジャパンマンモグラフィーサンデー」の略で、J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)というNPO法人が全国の医療機関に呼びかけた日曜日に全国どこでもマンモグラフィー検査が受診できる環境作りへの取り組みのことで、当院はこのプロジェクトに協賛しており、10月21日の日曜日に乳がん検診を行います。

実施日：平成24年10月21日  
検査料金：¥4,620(税込)

完全予約制です

予約受付時間：9時～17時

東大宮総合病院 健康管理課

TEL 048-684-2278

※おかけ間違いのないようご注意ください

女性にとってかけがえのない乳房をなるべく残したい、また手術後の生活の質を維持したい、そのためには早期発見がとても大切です。早期発見とはしこりの触れない無症状の乳がんを発見することです。無症状(しこりが触れない)の乳がんも画像として描出できるマンモグラフィー検査を是非この機会にお役立てください。

2012年10月21日(日)

日曜日  
に  
乳がん検査  
受けてみませんか

2012年10月21日(日)は  
マンモグラフィー乳がん検査  
を受けられる日曜日です

J.M.S  
JAPAN MANMOGRAPHY SANDEE

「ジャパンマンモグラフィーサンデー(JMSプログラム)」は、多様な背景を有する女性への  
情報提供のためにNPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)が全国の医療機関に呼びかけた。  
※当院はJ.M.Sに全国どこでもマンモグラフィー検査が受診できる環境づくりへの協賛です。

J.POSH  
http://www.j-posh.com

当院は日本乳癌学会関連施設です

# さくら友の会

のご案内

今年の4月、近隣医療圏における糖尿病診療への継続的な寄与を目的とした東大宮総合病院 糖尿病友の会が発足しました。名前は「さくら友の会」です。

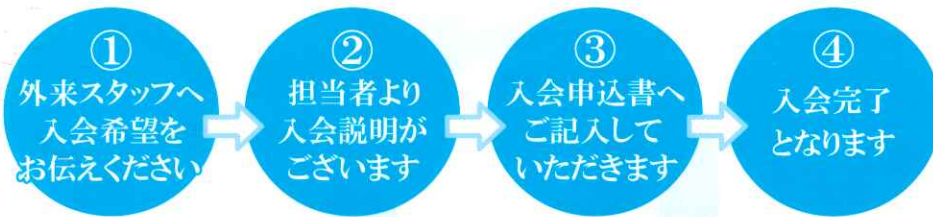
「桜のように皆さんに愛される友の会でありたい」との願いが込められています。糖尿病患者様はもちろん、ご家族や医療スタッフ、どなたでも入会可能です。お気軽にお声がけください。

## ●さくら友の会 活動内容

- ・年2回の友の会交流会の開催
- ・月1回の糖尿病教室の開催、
- ・糖尿病患者情報誌「さかえ」を毎月配布

## ●さくら友の会 入会方法は4ステップ！

年会費は3,000円です。お気軽にお声がけください。



## ●糖尿病教室の開催予定

開催日	テーマ
9月25日(火)	心筋梗塞から身を守る
10月25日(火)	糖尿病と脳梗塞
11月27日(火)	車の運転はどうしよう
12月25日(火)	血糖を気にしよう

糖尿病教室は無料で参加できます。ご興味のある方は、総合診療科窓口へお声がけください。



7月24日、交流会として糖尿病治療食の試食会を開催することができました。

当院の

## 数字アラカルト

外来患者数	655.6人/日
入院患者数	288.0人/日
在院日数	15.9日
ベッド稼働率	91.2%
救急件数	291.5件/月
手術件数	123.0件/月
心臓カテーテル検査件数	38.5件/月
内視鏡件数	541.5件/月

平成24年4~7月平均

## 編集後記

今年度は医療の質の向上に向け、色々な医療チームが活動を始めています。次回のハーモニーでは消化器チームと褥瘡対策チームの掲載を予定しております。

医療法人社協友会

## 東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅下車  
東口より徒歩3分